

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公表番号】特表2014-518153(P2014-518153A)

【公表日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-040

【出願番号】特願2014-517737(P2014-517737)

【国際特許分類】

B 08 B 1/04 (2006.01)

【F I】

B 08 B 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化学気相堆積リアクタベルの内部表面を洗浄するためのシステムであって、
リアクタベルのフランジに接続するためにフレームと、

フレームに接続された作動メカニズムであって、リアクタベルがフレームに接続された場合に、リアクタベルの内部空間内で垂直および回転運動ができるように形成された作動メカニズムと、

作動メカニズムに接続された少なくとも1つのブラシであって、リアクタベルの内部表面に接触するように形成されたブラシと、

作動メカニズムに接続された少なくとも1つのノズルであって、リアクタベルの内部表面に対して水流を向けるように形成されたノズルと、を含むシステム。

【請求項2】

さらに少なくとも1つのブラシに接続された回転アクチュエータを含み、回転アクチュエータはブラシを回転させるように形成される請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

さらに少なくとも1つのブラシを作動メカニズムに接続する直線アクチュエータを含む請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

リアクタベルの中に形成されたウインドウの内部表面に対して気体の流れを向けるための乾燥ノズルと、ウインドウの検査を助ける光とを含む請求項1に記載のシステム。

【請求項5】

ブラシを用いた化学気相堆積リアクタベルの内部表面の洗浄方法であって、
フレームの上にリアクタベルを配置する工程と、

第1アクチュエータを操作して、ブラシをリアクタベルの内部表面に噛み合わせる工程と、

ノズルからリアクタベルの内部表面に対してノズルからの水流を向ける工程と、

第2アクチュエータを操作してブラシを回転させる工程と、を含む方法。

【請求項6】

さらにリアクタベルの長手方向の軸に平行な垂直軸に沿って作動メカニズムを移動させる工程を含む請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

さらに内部表面の汚染物の量を測定する工程と、内部表面の汚染物の量に基づいて回転および垂直移動の速度を調整する工程とを含む請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

さらにリアクタベルの中に形成されたウインドウの内部表面に対して気体の流れを向ける工程を含む請求項 7 に記載の方法。